

附属特別支援学校は、教育学研究科特別支援教室「すばる」と連携して、附属幼稚園・小学校・中学校のインクルーシブな学校文化の醸成に向けた取組や課題に対して助言を行い、研修の場を提供します。また、「やまもも相談センター」を窓口として、地域におけるセンター的役割を充実させていきます。

附属特別支援学校のセンター的役割の紹介①

特別支援教育事業「やまもも教室」

附属特別支援学校では、附属学校園だけでなく、県全域の学校・園の先生方や保護者の方へ地域のセンター的役割を果たすことが求められています。今回は、その中の一つである「やまもも教室」を紹介します。

「やまもも教室」は、香川大学教育学部の先生方のご協力を得て、平成6年9月より実施しています。この事業は、育ちに遅れや偏りの見られる幼児児童とその保護者、担任の先生方を対象に、養育や保育、教育支援の仕方を共に考え、幼児児童の自立を支援していくことを目的としたものです。個別相談会や講演会、座談会など年間11回開催しています。5月は、かがわ総合リハビリテーションセンター

作業療法士の大野香織先生を講師に招き、不器用さのある子どもの支援について感覚・運動の視点からお話していただきました。参加者からは、「子どもに当てはまる事例があったので、さっそく実践してみようと思う。」という感想が多く聞かれました。



大野先生講話

